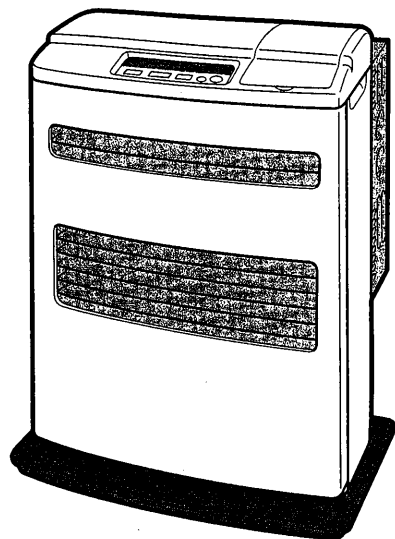
MITSUBISHI

三菱クリーンヒーター®
〈密閉式石油ストーブ〉
形名
VKT-402RC
VKT-302RC

取扱説明書

お客さま用

この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。
とくに「安全のために必ず守ること」をご使用前に必ず読んで安全にお使いください。

- この説明書はお読みになった後、お使いになるかたがいつでも見られるところに保存のうえ、ご使用中にわからないことや不具合が生じたとき、お役立てください。
- 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りになり説明書と共に保存してください。

安全のために必ず守ること

⚠警告　誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

定期点検の実施

- 定期的（2年に1回程度）に点検・整備を受けてください。

点検を受けずに長期間使用し続けると、故障や事故の原因になり危険です。
点検・整備はお買い求めの販売店や資格者のいる店に依頼してください。

指示に従い必ず行う

ご自身での据付け・移設工事は厳禁

- お客さまご自身による工事は危険です。

据付け・移設工事は販売店や専門業者にご依頼ください。

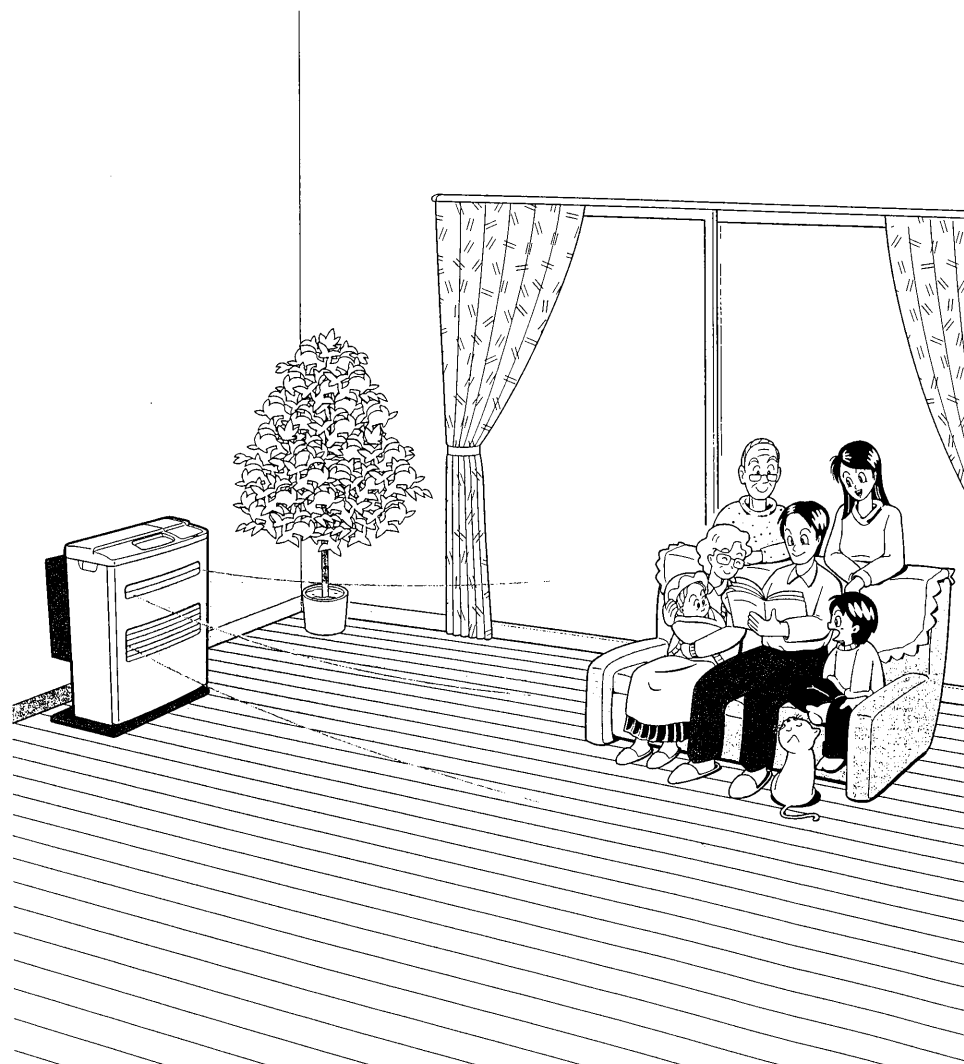
禁止

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できずまた、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only
and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

0609873HK0603

足元から、そして部屋中に広がる、
デュエットフロー温風

上下吹き出しの温風制御で立ち上がりは、足元温風でお部屋を素早く暖めます。
また、お部屋が暖まれば温風が直接からだに当らないように上向きの微風に調節します。
温風による吹かれ感の少ない、すこやかな暖かさです。

もくじ

次のようなマークで
必要な情報を示しています。

[お願い] 正しく使っていただくための情報です。

メモ より便利にご使用いただくための情報です。

 細部の機能説明です。

参照ページを示します。

ページ

ご使用のまえに

使いかた

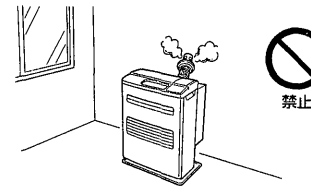
安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、つぎの表示で区分して説明しています。

⚠危険 取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合	⚠警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合	⚠注意 取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合

⚠危険

屋内給排気厳禁

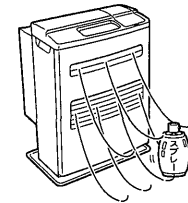
お客さまご自身では据付工事をしない。
(異常燃焼し、一酸化炭素中毒の原因になります)

ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は使わない。
(火災の原因になります)

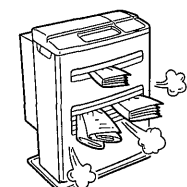
ガソリン厳禁

⚠警告

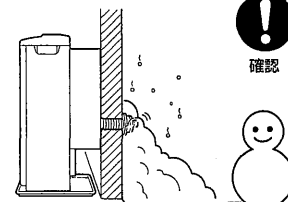
スプレー缶接近厳禁

(爆発の原因になります)

接近厳禁

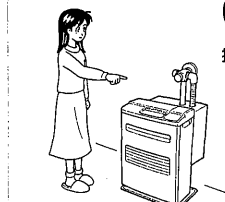
温風吹出口をふさがない

衣類・紙などで温風吹出口、空気取入口をふさがない。
(火災の原因になります)

禁止

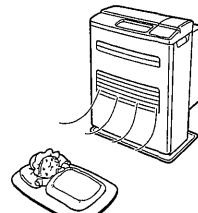
給排気筒トップ閉そく危険

積雪の多いときは、給排気筒トップが雪でふさがれていないか確認し、ふさがれているときは除雪する。
(閉そくしていると運転中に排気ガスが室内にもれて、危険です)

確認

給排気筒はずれ危険

給排気筒(管・ホース)が正しく接続されているか点検する。
(はずれていると運転中に排気ガスが室内にもれて、危険です)

接続点検

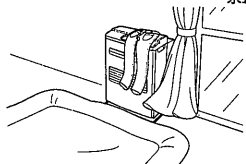
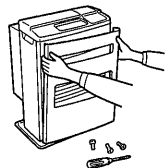
温風に直接あたらない

温風を長時間、直接身体にあてない。
お子さまや身体の不自由な方が使用になるときは、まわりのひとが注意してください。
(低温やけど・脱水症状の原因になります)

禁止

●図記号の意味は、次のとおりです。

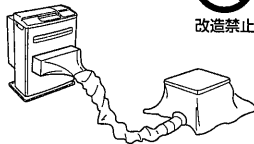
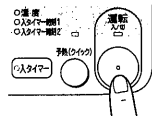
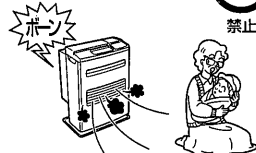
	ガソリン厳禁		接触禁止
	禁止		指示に従い必ず行う
	分解禁止		電源プラグを抜く

⚠注意

カーテン・可燃物近接禁止
（過熱により火災の原因になります）
禁止

分解修理の禁止
（感電事故の原因になります。不完全な修理は危険です）
分解禁止

修理は販売店にご依頼ください

改造使用の禁止
温風をダクトなどでこたつへ引き込むなどの改造はしない。
（火災や排気ガスが室内にもれる原因になります）
改造禁止

給油時消火
（火災の原因になります）

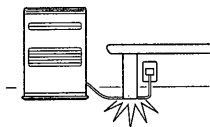
消火

異常時使用禁止
万一異常を感じたときは、使用しない。
（異常燃焼のおそれがあります）
禁止

販売店に点検・修理をご相談ください

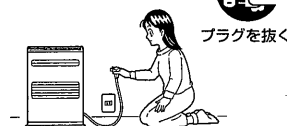
高温部接触禁止
温風吹出口や給排気筒トップは燃焼中・停止直後は高温になっています。
（やけどをします）

接触禁止

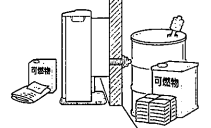
排気ガスに注意
愛がん動物や植木などに排気ガスをあてない。
（動物が死んだり、植木が枯れる原因になります）
禁止

油もれ確認
給油口口金は確実に締める。
（火災の原因になります）
確認

電源コードを傷めない
電源コードに無理な力を加えたり、物を乗せたりしない。
また、コードを持って引き抜かない。
（火災や感電の原因になります）
禁止

電源プラグは確実に差し込む
（火災の原因になります）
確認

長期間使用しないときは電源プラグを抜く
（火災や予想しない事故の原因になります）
プラグを抜く

電源プラグのお手入れを
ときどき電源プラグを抜き、ほこりを取除く。
（火災の原因になります）

ほこりを取る

製品の周辺や給排気筒トップ周辺に可燃物を置かない
（過熱により火災の原因になります）

安全のためのお願い

●図記号の意味は、次のとおりです。

	ガソリン厳禁		接触禁止
	禁止		指示に従い必ず行う
	分解禁止		電源プラグを抜く

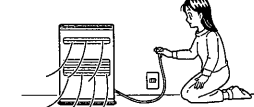
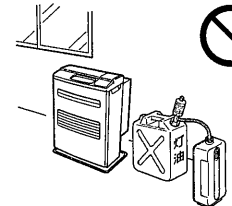
安全のためのお願い

●使用中にエアーフィルターをはずさない
●エアーフィルターをはずしたまま使用しない
（ほこりが機器内部に入り、故障の原因になります）

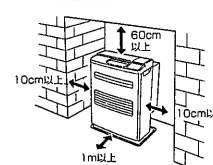
●腰をかけたり、物をのせたり、強いショックをあたえない
（変形・故障・給排気部品のはずれる原因になります）

●燃焼中は電源プラグを抜いたり、元電源（ブレーカー）を切らない
（余熱により故障する原因になります）

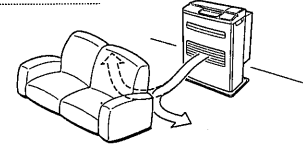
●熱に弱い床面は保護する
熱に強いマット類を敷く
（床面が変色したりそりかえることがあります）

●雷のとき
電源プラグを抜く
（故障するおそれがあります）

●居室内給油禁止
給油は必ず火の気のないところで行う
（火災の原因になります）

安全に使用するために

●本体周辺の空間寸法を確保する
（マントルピース内据付けについても下記寸法を確保する）

（詳しくは23ページ）

●居室の暖房以外の用途で使用しない
次のような場所では使わない
●乾燥室
●温室
●飼育室
●化学薬品を使用する場所

効果的に使用するために

●温風の循環を妨げない
（室温調節が正しく作動しなくなります）

●クリーンヒーターを運転すると部屋が乾燥する場合があります。必要により加湿器と併用してください。

お願い

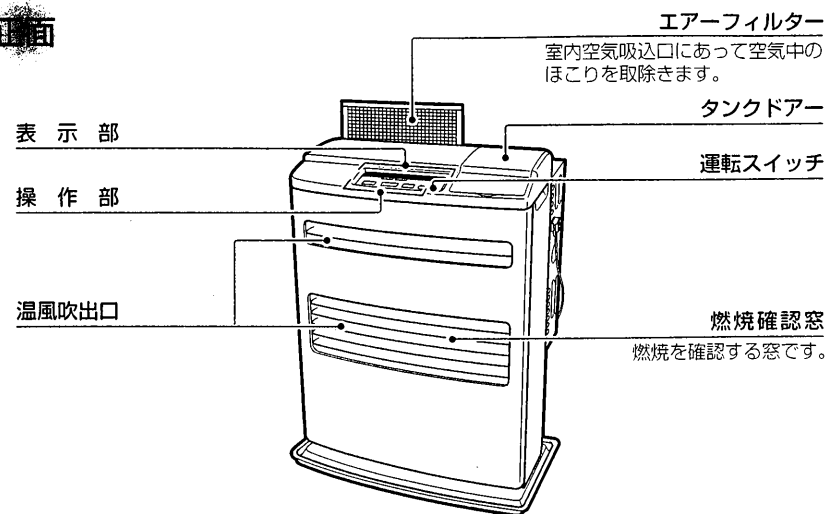
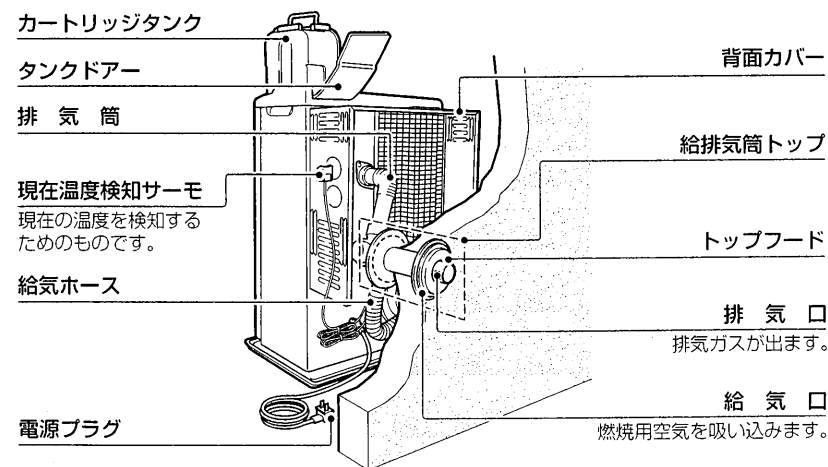
灯油の廃棄処分は灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。

各部のなまえとはたらき

正面

- エアーフィルター
  室内空気吸込口にあって空気中のほこりを取除きます。
- 表示部
- タンクドアー
- 運転スイッチ
- 操作部
- 温風吹出口
- 燃焼確認窓
  燃焼を確認する窓です。

背面

- カートリッジタンク
- タンクドアー
- 背面カバー
- 排気筒
- 給排気筒トップ
- 現在温度検知サーモ
  現在の温度を検知するためのものです。
- トップフード
- 給気ホース
- 排気口
  排気ガスが出ます。
- 給気口
  燃焼用空気を吸い込みます。
- 電源プラグ

表示部・操作部のなまえとはたらき

表示部

運転「切」後10分たったら表示が消えます。(待機時消費電力を少なくしています)

- ●運転スイッチと予熱(クイック)スイッチ、チャイルドロックが「切」のとき、10分以上ボタンの操作がなければ自動的に時計表示やランプを消灯します。このときの待機時消費電力は約2Wです。
- ●消灯中にスイッチやボタンを押すと再点灯します。

ランプ消灯 ○
ランプ点滅 ☀
ランプ点灯 ☀

表示部
運転中は温度表示をする。現在の温度が6℃未満のときは「L」、33℃以上のときは「H」を表示する。運転スイッチ切のとき時刻を表示する。また、異常で運転停止したときは、エラーモード（故障・異常状態）を表示する。

- チャイルドロックランプ
- **灯油確認ランプ**
  カートリッジタンクに灯油があるか、油受皿に水が溜っていないか、給油フィルターに水やごみがたまっていないか確認する。(17ページ参照)
- **時刻表示ランプ**
  - ● 時刻表示のとき点滅
  - ● 入タイマー運転中は点灯
- 時計ランプ
- 温度ランプ
- 入タイマー時刻1ランプ
- 入タイマー時刻2ランプ
- 予熱(クイック)ランプ
- 運転ランプ

設定温度/時　現在の温度/分
灯油確認　10：00
● 時計
● 温度
● 入タイマー時刻1
● 入タイマー時刻2
MITSUBISHI
運転 入/切

操作部

3秒押し チャイルドロック
温度/タイマー設定 − ＋ 時 分
○入タイマー
予熱(クイック)

- **温度/タイマー設定ボタン**
  設定温度、現在時刻、入タイマーの設定に使う。
- **チャイルドロックボタン**
  お子さまやペットなどによるいたずら防止に使う。(15ページ参照)
- **入タイマーボタン**
  何時に運転開始するかを2通り設定できる。(14ページ参照)
- **予熱(クイック)スイッチ**
  (12ページ参照)
- **運転スイッチ**

わかりやすいボタンだから操作もカンタン！

使用前の準備 （燃料・給油）

燃料

ガソリン厳禁

■必ずJIS1号灯油を使う
ガソリン、変質灯油、不純灯油などは、絶対に使用しない。

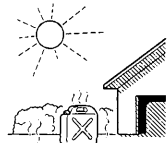
灯油とガソリンの見分けかた
指先につけて息をふきかけます。
（火の気のない所で行ってください）

■変質灯油とは
- ポリタンクで昨シーズンより持ち越したもの。
- 日光のあたる場所で長期間保管したもの。
- 温度が高い場所で長期間保管したもの。

見分けかた
水よりも色がついていたら変質灯油です。
変質のひどいものは、黄色みを帯びたり、すっぱい臭いがします。

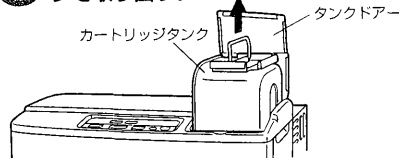
■不純灯油とは
- 水やごみが混入したもの。
- 灯油以外の油（天ぷら油、機械油、ガソリン等）が混入したもの。
- 助燃剤等が混入したもの。

■誤って変質灯油、不純灯油を使用した場合は故障します

■保管のしかた
- 灯油専用の着色容器を使う。
- 火気、高温、直射日光、ごみ、雨水を避けた場所に保管する。
- ガソリンなどと一緒に保管しない。

禁止

給油手順

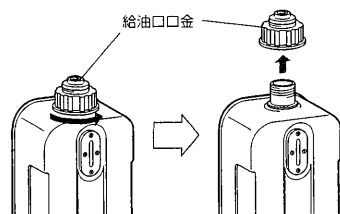
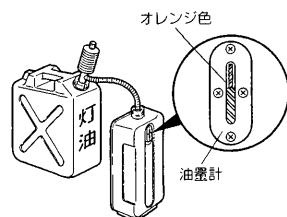
■カートリッジタンクに給油する

❶ タンクドアーを開けカートリッジタンクを取り出す。

カートリッジタンクの口金についている灯油が、本体内の油受皿の上に滴下する場合があります。油受皿上部が多量の灯油でぬれた場合は油受皿と給油フィルターの凹部の灯油をふきとってください。

給油フィルター

ふきとらないと、カートリッジタンクの口金の外側がぬれてしまうことがあります。

（油受皿と給油フィルターの位置は17ページ参照）

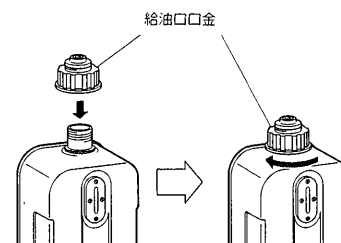
❷ 給油口口金を取りはずす。
グリップ（緑色）部を持つと、手が汚れにくく回しやすくなります。

❸ 注油ポンプを使って油量計を見ながら、あふれさせないように給油する。
- 灯油が入るのを油量計の正面から見ると、狭いオレンジの縞模様が広い縞模様になります。

[お願い]	給油するとき、水、ごみなどが入らないように注意してください。（燃焼不良の原因になります）

ご使用のまえに
燃料・給油
表示部・操作部のなまえとはたらき

ご使用のまえに
運転開始前の準備と確認
給油

使用前の準備 （給油・運転開始前の準備と確認）

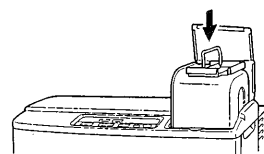
給油手順

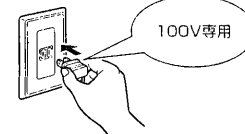
❹ 給油が終わりましたら、給油口口金を付けてしっかり締める。

❺ 給油口口金を下にして、油もれがないことを確かめる。

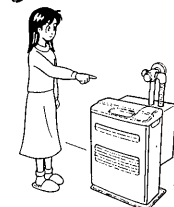
口金を斜めに締めると、簡単に口金がはずれて、火災の原因になります。

油もれ禁止

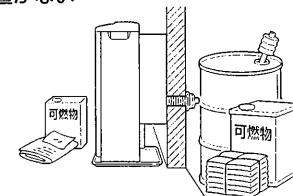
[お願い]	こぼれた灯油はよくふきとってください。

❻ カートリッジタンクをセットする。
- カートリッジタンクの向きを確かめて静かにストーブにセットします。

運転開始前の準備と確認

■電源プラグをコンセントに差し込む

- 専用のコンセントでご使用ください。他の電気製品と同じコンセントで使用すると、時計表示が進んだり、他の製品にノイズが入ったりする場合があります。

■給気ホース、排気筒が正しく接続されているか点検する

接続点検

警告
はずれていると運転中に排気ガスが室内にもれ、一酸化炭素中毒の原因になります。

■製品の周辺や給排気筒トップ周辺に可燃物を置かない

可燃物禁止

[お願い]	可燃物近接禁止（過熱により火災の原因になります）

■製品から油もれがないか確認してください。
万一、油もれしている場合は、使用しないで必ずお買上げの販売店に修理依頼、またはお近くの「三菱電機 修理窓口」にご相談ください。

油もれ禁止

ふだんの使いかた

点火のしかた

表示部・操作部

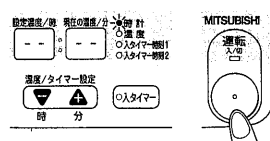
運転スイッチを押す

- 運転ランプと温度ランプ・温度表示が点灯します。
- 5～6分して点火し、2～3分後に温風が出ます。

メモ

- 灯油気化用ヒーターが暖まるのに5～6分かかります。

消火のしかた

表示部・操作部

運転スイッチを押す

- 運転ランプが消灯します。
- 3～4分して送風が止まります。

メモ

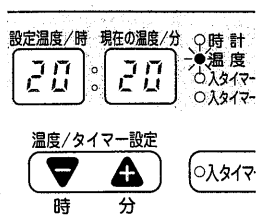
- 外出するときは、必ず消火してください。
- 時計合わせをすると時刻を表示します。……13ページ

温度調節

現在の温度が設定温度より約3℃高くなると自動的に消火し、設定温度まで下がると自動的に点火します。

表示部・操作部

設定温度/時　現在の温度/分　20　20　時計　温度　入タイマー　入タイマー

温度/タイマー設定　時　分　入タイマー

＋ボタンを押す

- 押すごとに1℃ずつ温度が上がります。

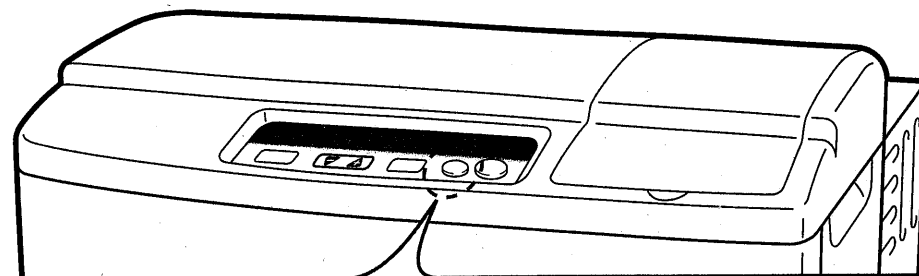
ー ボタンを押す

- 押すごとに1℃ずつ温度が下がります。

メモ

- 希望温度は、8℃～30℃の範囲で調節できます。
- 温度調節は運転スイッチ「入」状態で行います。

ふだんの使いかた すぐ点火させるには(予熱(クイック))

運転スイッチを押してから点火するまでの時間を短くするには、予熱(クイック)スイッチを使用します。

予熱(クイック)について

予熱(クイック)スイッチを押しておくと、灯油気化用のヒーターを予熱しておきますので、運転スイッチを押すと約30秒で点火します。(温度条件により1分程度かかる場合があります)

表示部・操作部

予熱(クイック)スイッチを押す

- 灯油気化用ヒーターの予熱をします。
- 予熱(クイック)ランプが点灯し、予熱(クイック)モードになります。

メモ

- 予熱(クイック)スイッチは、前もって押しておくスイッチです。
  運転スイッチを「入」にする直前に押しても効果はありません。(灯油気化用ヒーターの予熱に5～6分かかります。)
- 再度予熱(クイック)スイッチを押すと解除され、ランプが消灯します。
- 予熱(クイック)スイッチを押した状態で24時間放置すると自動的に予熱(クイック)が解除され、予熱(クイック)ランプが点滅します。(予熱(クイック)スイッチをもう一度押すと点滅が消えます)
  ※予熱(クイック)中は約120Wの電力を消費しますので、切り忘れによる電力消費のムダを防止します。
- 予熱(クイック)は外出のときなどにお使いいただくと便利ですが、通常のご使用では、節約のため「入タイマー」でご使用になることをおすすめします。
- 運転中に予熱(クイック)スイッチを押しても、予熱(クイック)待機中の消費電力は消費されません。

灯油確認ランプが点灯したら

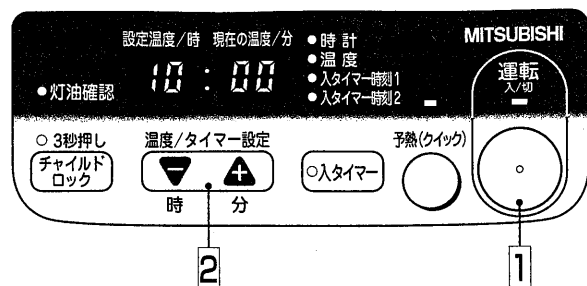
灯油確認ランプが点灯したらカートリッジタンクに給油します。
20分以内に給油しないと、灯油確認ランプが点滅し運転を停止します。

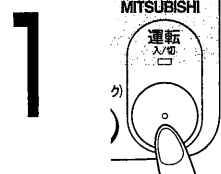
現在温度検知サーモについて

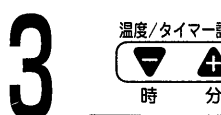
- **室内の温度計と現在の温度表示が合わない**
  現在の温度は現在温度検知サーモが測定した温度を表示しています。室内の他の温度計とは測定位置が異なるため一致しない場合があります。
  現在の温度が設定温度より3℃高くなったことを表示後消火します。
- **室温コントロールが安定しない**
  製品の現在温度検知サーモ部に温風が流れていることがあります。現在温度検知サーモを温風の影響のないところに移動してください。

いろいろな使いかた

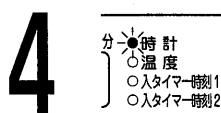
時計の合わせかた

時計合わせをしないと、タイマー運転ができません。

〈条件〉 時計合わせは運転スイッチを「切」にしておこないます。

表示部・操作部

1 運転スイッチを「切」にする

2 ▼ボタンと▲ボタンのいずれかを押す
●時計ランプが点滅します。

メモ: ● 工場出荷時は10：00です。

3 ▼ボタンと▲ボタンを押して現在の時刻に合わせる

メモ:
● ▼ボタンを押すと0〜23時まで切換えます。
● ▲ボタンを押すと00〜59分まで切換えます。
● 1秒以上押し続けると早送りします。

4 時刻合わせが終わると5秒後に時計がスタートします
●時計ランプが点灯し、時刻表示ランプ(時刻表示部中央のコロン)が点滅します。

メモ:
● 運転スイッチを「入」にすると、直ちに時計がスタートします。
● 時計表示したくない場合は運転スイッチを切にして、▲▼ボタンを同時に1秒以上押してください。
表示部は−−：−−になります。

使いかた
時計の合わせかた
予熱(クイック)

使いかた
チャイルドロックについて
「入」タイマー運転のしかた

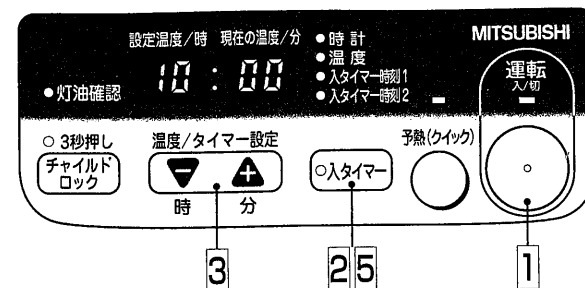
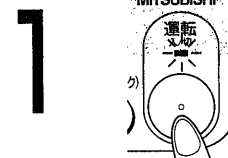
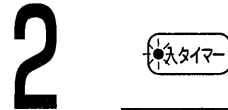
いろいろな使いかた

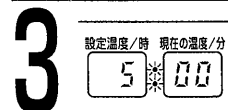
「入」タイマー運転のしかた (ウォーミングアップ運転機能付)

「入タイマー1」「入タイマー2」でそれぞれタイマー時刻を設定すると、平日と休日、朝と夕のように2通り別々の設定ができます。

表示部・操作部

1 運転スイッチを押して「入」にする

メモ:
● 入タイマー1の初期設定は5：00です。
● 入タイマー2の初期設定は7：00です。

2 入タイマーボタンを押す
●入タイマーランプと入タイマー時刻1ランプが点灯し、入タイマー1時刻を表示します。

メモ:
● 時計が未設定のときはタイマーの設定ができませんので、時計合わせをしてから、タイマーの設定を行なってください。
● 入タイマーボタンは押すごとに
入タイマー時刻1 → 入タイマー時刻2 → 入タイマー解除 →
と切換わります。

3 ▼▲ボタンのいずれかを押す
●入タイマー時刻1ランプが点滅します。

メモ: ▼ボタンは時間を、▲ボタンは分を可変します。

4 入タイマー1時刻を合わせる
●時計合わせのしかたと同じです。
……13ページ 3、4参照

5 表示部に5：00を表示し、一旦運転が停止します。
●5時00分の少し手前の時刻にウォーミングアップ運転により運転を開始し、5時00分から通常運転になります。

ミニ情報

ウォーミングアップ運転とは

入タイマー設定時刻の30分前に室温を検知し、その結果により右表のように一定時間早目に運転を開始する運転です。

30分前の室温	5℃未満	5℃〜15℃未満	15℃以上
運転開始時刻	26分前	16分前	6分前

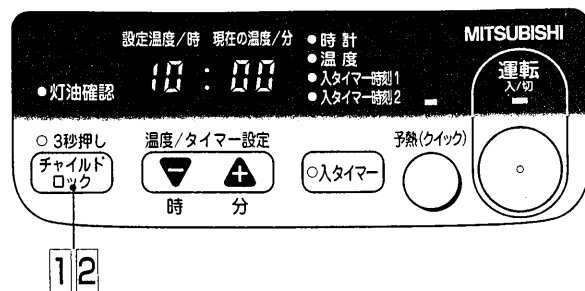
● 現在の時刻から30分以内に入タイマー設定時刻が設定されていると、ウォーミングアップ運転は行わず、入タイマー時刻に運転を開始します。

いたずら防止に(チャイルドロック)/停電のとき

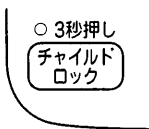
チャイルドロックボタンをセットしておくと、お子さまやペットなどによるいたずら操作を防止することができます。

表示部・操作部

1

○ 3秒押し
チャイルドロック

チャイルドロックボタンを3秒以上押す

●チャイルドロックランプが点灯します。

2

解除するには チャイルドロックボタンを3秒以上押す

●チャイルドロックランプが消灯します。

メモ

● ロックがかかるもの
- 入タイマーボタン
- 温度／タイマー設定ボタン
- 運転スイッチの「入」操作
- 予熱(クイック)スイッチの「入」操作

● ロックがかからないもの
- 運転スイッチの「切」操作
- 予熱(クイック)スイッチの「切」操作

停電のとき

停電または電源プラグを抜いたときは時計合わせを行ってください。……13ページ
(一旦電源が切れたのち、再通電されているときは時計表示が点滅しています)
次の設定は停電前の設定を記憶しています。
●温度調節　●入タイマー1、2の時刻

風向調節

風向調節はできません。温風吹出口のルーバーはそのままでご使用ください。

日常の点検・手入れ

点検・手入れのときの注意

●必ず運転スイッチを「切」にして運転を停止し、製品が冷えた状態で行ってください。
●お手入れの際は、けが防止のために手袋の着用をおすすめします。

■シーズンはじめ

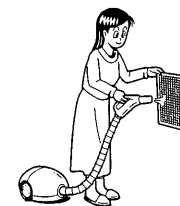
●給気ホース・排気筒
1. 背面カバー上板をはずして、給気ホース・排気筒の接続箇所がはずれていないか確認する。
2. 排気筒と可燃物(壁など)との離隔距離を確認する。……23ページ

●給排気筒トップ
屋外の給排気筒トップ先端がくもの巣やビニール袋などでふさがれていないか点検する。

●時計合わせ
時計合わせのしかたにより設定する。…13ページ

■1か月に1回程度

●エアーフィルターの清掃
エアーフィルターを、図のように取りはずし、掃除機などでほこりを取り除く。

温風吹出口から風が出ていないのを確認してから行ってください。送風中に行うと本体内部にほこりが入ることがあります。

■使用のたびに

●排気ガス
排気ガスのにおいや、目がチカチカしないか点検する。排気ガスが室内に漏れていると一酸化炭素中毒の恐れがあり非常に危険です。

●油漏れ、油のたまり、油のにじみ
置台に油漏れ、油のたまり、油のにじみがないか点検する。

●周囲の可燃物・引火物
本体の上や周囲・給排気筒トップの周辺に可燃物、引火物がないか点検する。

■1か月に1回以上

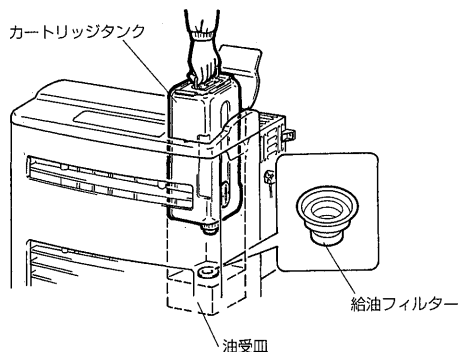
●外観の清掃
製品外観・置台・温風吹出口などの汚れは乾いたやわらかい布などできれいにふきとる。
シンナー・アルコール・ベンジンなどは使用しないでください。

■1シーズンに1～2回

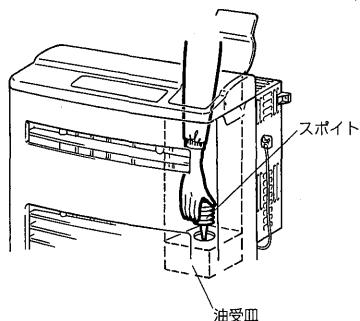
●給油フィルターの清掃

給油フィルターは、灯油中の水やゴミを除去し、本体内部に入らないようにするための部品です。このフィルターは灯油は通過しますが水は通過しないフィルターです。水やゴミが溜ると灯油が流れません。

表示部の「灯油確認ランプ」が点灯または点滅するときはカートリッジタンクの灯油が無くなったときと、給油フィルターに水が溜ったときとゴミで汚れたときです。カートリッジタンクに灯油が残っていて点灯または点滅している場合には給油フィルターを清掃してください。

1. カートリッジタンクを取り出す。
2. 給油フィルターを取り出す。
3. 給油フィルターに溜った水を捨て付着したゴミをブラシなどで取り除き、乾いた布でフィルターの内外面をふいて水分を取り除いてください。
4. 給油フィルター・カートリッジタンクをもとどおりにセットする。

■油受皿の水抜き

●油受皿内の空気に含まれる水蒸気が温度変化により結露して油受皿内に水がたまります。たまった水により油受皿が腐食して油漏れとなったり、多量に水がたまると電磁ポンプが水を吸い込んで運転を停止します(E-01表示)ので、1シーズンに1～2回油受皿内の水抜きを行ってください。

1. カートリッジタンクと給油フィルターを取り出す。
2. 付属のスポイトで油受皿の底にたまった水を抜く。
(スポイトの先端を油受皿の底面にあてて2杯分抜き取る)
3. 給油フィルター、カートリッジタンクをもとどおりにセットする。

[お願い]	カートリッジタンク・保管容器に水の混入していることが考えられますので、点検を行い、水を抜き取ってください。

定期点検

使用される場所や条件、また使用時間により消耗・劣化する部品があります。
専門技術者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会(☎03-3499-2928)で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など〕のいる店で定期点検を受けてください。
安全にお使いいただくために製品の状態を点検診断するものですから必ず受けてください。

いつ

2シーズン毎
ただし、条件により1シーズン毎の点検が必要となる場合もあります。
湿度の高いところ
ほこりの多いところ(厨房・製綿工場など)
温泉地域などでご使用の場合

どこへ

お買上げになった販売店
またはお近くの「三菱電機 修理窓口」へ

費用

お買上げの販売店にご相談ください。
定期点検の結果、部品交換や修理等が必要な場合は、処置内容と費用についてお客さまにご相談申しあげます。

内容

定期点検の内容	項目
据付け状態、給排気回りの点検・確認	●製品の据付け・使用状態 ●給排気筒の接続とつまり ●給排気筒トップのつまり
安全装置および運転動作の点検・確認	●安全装置の働き ●操作部品や動く部品の働き ●運転動作の点検
環境・使用時間により劣化しやすい部品の点検・交換	●給排気系部品、電気接点部品などの点検 ●点火電極、炎検知器などの点検 (劣化の状態により交換の場合もあります)
製品の清掃・整備	●本体内部 ●油タンクの水抜き ●温風吹出口

地震などの災害が発生したときの点検

☆地震などにより製品に振動、衝撃が加わったときは、運転をする前に必ず次の点検を実施してください。
点検内容
●給排気回りのはずれ、漏れの確認(臭いで確認する)
●油漏れ確認

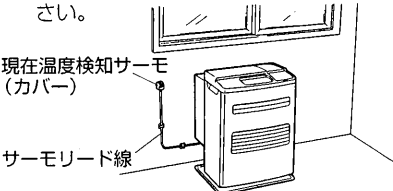
☆点検で異常が見つかったときや、点検したのち使用しているときに排気ガスのにおいがしたり、目がチカチカするときは使用を中止してお買上げの販売店またはお近くの「三菱電機 修理窓口」へ修理を依頼してください。

故障・異常の見分けかたと処置方法

■表示ランプにより異常をお知らせします

表示	原因	処置方法
運転ランプが点灯しない	電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグをコンセントに確実に差し込む
	異常過熱防止装置が作動している	お買上げの販売店にご相談ください
	異常着火検知装置が作動している	
E－00	停電がありませんでしたか？ **停電安全装置**が作動した	運転スイッチを押しなおし時刻設定をする 予熱(クイック)スイッチが「入」になっていたら一旦「切」にしてから行ってください。……13ページ
灯油確認ランプが点灯及び点滅する ※ランプ点灯：約20分間燃焼できる ※ランプ点滅：燃焼停止する	カートリッジタンクに灯油がない	給油する
	カートリッジタンクに灯油がある場合は、給油フィルターに水が溜っているかゴミが付着している	給油フィルターに溜った水を捨て付着したゴミをブラシなどで取り除き、乾いた布でフィルターの内外面をふく……17ページ
E－01	油受皿に水が入っている	油受皿内の水を付属のスポイトで抜き取る……17ページ
	給排気筒トップの先端が塞がれている	給排気筒トップ先端部にしゃ閉物があれば取り除く
E－06	電源に異常がありませんでしたか	一旦電源プラグをコンセントから抜いて差し込みなおす
E－12	エアーフィルターにほこりがつまって**過熱防止装置**が作動した	エアーフィルターを清掃する
	温風吹出口がしゃ閉されて**過熱防止装置**が作動した	温風吹出口のしゃ閉物を取り除く
E－13	異常燃焼している（**異常燃焼検知装置**の作動）	給排気筒トップの給気口・排気口が異物でふさがれていないか確認し、異物を取り除いてから運転スイッチを押しなおしてください
	変質灯油・不純灯油の混入	お買上げの販売店にご相談ください

故障・異常の見分けかたと処置方法（つづき）

表示	原因	処置方法
E－17 運転ランプが点滅する	強い地震や衝撃を受けて**対震自動消火装置**が作動した 対震自動消火装置は震度5以上の地震があると作動します。	『地震などの災害が発生したとき』の点検項目を確認し運転スイッチを押しなおす……18ページ
	温風吹出口がしゃ閉されて過熱防止装置(オートカット)が作動した	温風吹出口のしゃ閉物を取り除き運転スイッチを押しなおす
E－02	マイコン故障	電源プラグを抜き、お買上げの販売店に表示の内容をご連絡ください
E－03　E－04	気化ヒーター断線・ヒーター回路故障	
E－05	炎検知回路故障	
E－07	温風センサー故障	
E－08	ポンプ回路誤動作	
E－14	燃焼ファン回転数異常	
E－09	排気筒がはずれていませんか？ 古い排気筒で延長排気していませんか？ 排気筒の接続部にストッパーはつけられていますか？ 排気筒はずれ検知リードは正しく取付けられていますか？	お買上げの販売店にご連絡ください
現在の温度表示（L）	現在温度検知サーモ温度が6℃未満	そのままご使用ください 室温が上がっても表示が変わらないときはお買上げの販売店にご連絡ください
現在の温度表示（H）	現在温度検知サーモ温度が33℃以上	そのままご使用ください 室温が下がっても表示が変わらないときはお買上げの販売店にご連絡ください

こんな症状のときは

使用を中止しお買上げの販売店に修理依頼、またはお近くの「三菱電機 修理窓口」にご相談ください。

症状	予測される故障
燃焼確認窓が『すす』で汚れて炎がみえない	不完全燃焼をしている
使用中に『ボーン』という大きな音がする	部品が故障している
排気ガスのにおいがしたり、目がチカチカする	排気ガスが室内にもれている

故障・異常の見分けかたと処置方法
こんなとき

■故障かな？ 次の症状は故障ではありません

	症状	原因
点火時	すぐ点火しない	運転スイッチを「入」にしてから灯油気化用のヒーターが暖まるまでに5〜6分かかり、その後点火します
点火時	ピシッピシッと音がする ゴツンゴツンと音がする	燃焼器の熱伸縮音ですので異常ではありません
点火時	運転スイッチ『入』でなかなか点火しない	現在の温度表示が設定温度より高いと点火しません
燃焼時	現在の温度表示と他の温度計で測定した室温が一致しない	●現在の温度は現在温度検知サーモが測定した温度を表示しています。測定位置の違いにより一致しないことがあります。 ●温度調節がうまくいかない場合は背面カバーに取付けてある現在温度検知サーモカバーを上方にスライドしてはずし、温風、直射日光や冷風の影響を受けない場所に木ネジまたは、両面テープで固定してください。 ●サーモリード線は無理に引っ張らないでください。 現在温度検知サーモ（カバー） サーモリード線
燃焼時	5分に一回程度温風が変化する	燃焼制御装置が働いているためです
燃焼時	少し赤い炎で燃焼する	少し赤い炎で燃焼する状態が正常です
消火時・その他	ピシッピシッと音がする ゴツンゴツンと音がする	燃焼器の熱伸縮音ですので異常ではありません
消火時・その他	時計表示が進む	同一コンセントにノイズを発生しやすい製品が使用されている場合に、生じることがあります
消火時・その他	時計表示が点滅する	停電後や、電源プラグを抜き差しした後は時計表示が点滅しますので、時計合せをやりなおしてください
消火時・その他	時計表示やランプが消灯している	待機時電力低減制御が作動しています。消灯中にスイッチやボタンを押すと再点灯します。 ……8ページ「待機電力を少なくしています」

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてください。その後お買上げの販売店か、お近くの「三菱電機 修理窓口」にご相談ください。

修理（部品交換のしかた）

お買上げの販売店、またはお近くの「三菱電機 修理窓口」にお問い合わせください。
専門技術者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など〕のいる販売店にご相談ください。不完全な修理は危険です。

保管（長期間使用しない場合）

■長期間使用しないとき（シーズン終了時）は、次の要領でお手入れしてください。
製品は据付けたままにしてください。

1. 電源プラグをコンセントから抜く。
2. 油受皿の底に水が残っていると油受皿が腐食しやすくなるため、17ページの要領で油受皿底部の水を抜きとる。（水か灯油かがわからない場合はスポイト2杯分抜いてください）
   油受皿に残った灯油はそのまま次シーズンまで保管してください。
   油受皿に残った灯油を抜いて保管する場合はスポイトまたは注油ポンプで灯油を抜き、9ページの「保管のしかた」を参照して保管してください。
3. 製品外観、エアーフィルター、温風吹出口の掃除をする。

据付け・移設

据付け・移設工事は販売店に依頼する

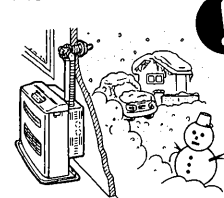
据付けや移設工事は販売店または据付業者に依頼し、お客さまご自身では行わないでください。

据付場所の選定

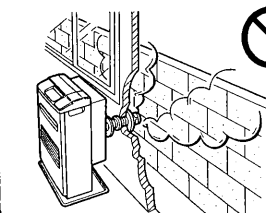
製品の据付けは販売店・工事店が火災予防条例などに基づき実施していますが据付工事完了後、販売店・工事店とともにお客さまご自身でもご確認ください。

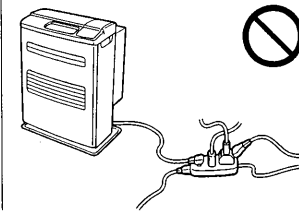
⚠警告

給排気筒トップ閉そく危険

積雪の多い地方では、給排気筒トップが雪で埋もれない位置に取付けること

［お願い］

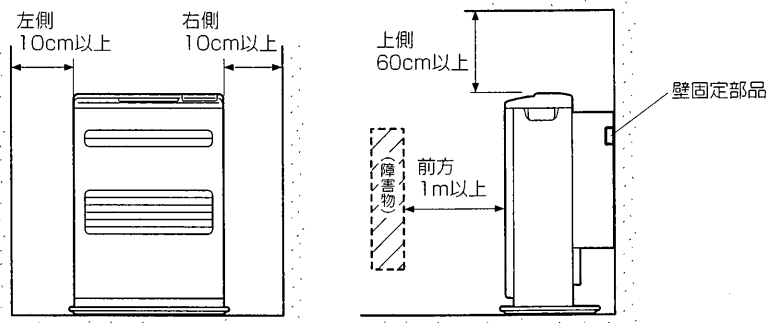
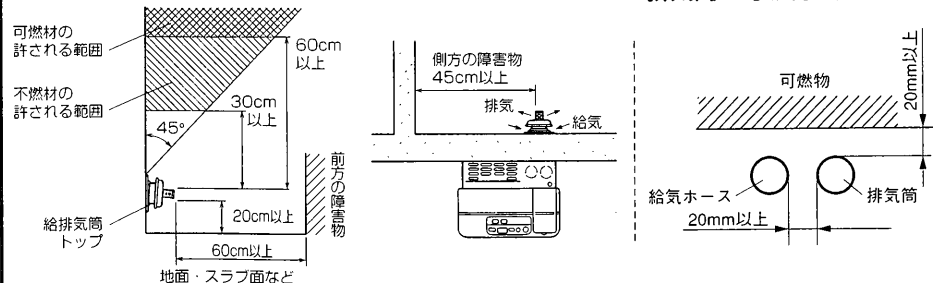
排気ガスがよどまないか確認する

排気ガスを再度吸い込んで不完全燃焼を起こすことがあります。

タコ足配線で使わない

電源は交流100Vコンセント単独で使う。

据付け・移設

[お願い]	どうしても取りはずして保管するときは、湿気やほこりの少ないところに保管してください。 再び据付けるときは、必ずお買上げの販売店に依頼してください。 お客さまご自身では、据付工事をしないでください。 製品内部の清掃は、必ずお買上げの販売店に依頼してください。

製品と周囲との距離

製品を据付ける場合は、石油燃焼機器の設置基準〔(財)日本石油燃焼機器保守協会〕で決められている下図の可燃物との距離を必ずとってください。
アフターサービス、定期点検、更に給排気回りの点検を行うためにも必要です。

本体後面の空間距離は「10cm以上」必要です。本体付属の背面カバーで「10cm以上」が確保できます。
背面カバーが壁面に密着していることを確認してください。

据付け・移設 (つづき)

据付工事後の確認

据付工事終了後に販売店・工事店とともにお客さまご自身でも下表に基づき点検してください。

点検箇所		点検項目	参照ページ	チェック結果
製品		製品の回りは必要な空間がありますか。	23	
		床面の不安定な場所に据付けてありませんか。	—	
		丈夫な床面に製品が固定してありますか。	—	
		変質灯油、不純灯油を使用していませんか。油漏れはありませんか。	10	
		標高調節は正しく行われていますか。	—	
給排気部品		給排気筒トップの周囲は基準寸法が守られていますか。	23	
		排気筒は壁や給気ホースなどの可燃物から20mm以上離れていますか。	23	
		給排気筒のはずれ・ゆるみがありませんか。	4	
		排気ガスが屋外へ排気されるようになっていますか。	4	
		給排気筒トップの取付けが屋外に向って下り勾配になっていますか。	—	
		給排気筒トップの周囲に障害物(樹木・愛がん動物・雪のふきだまり)はありませんか。	4・5・22	
		給排気筒トップの周囲に危険物(灯油・ガソリン・プロパンガス)はありませんか。	5	
		トップフードが必ず取付けられていますか。	—	
		トップフードの給気口・排気口がビニール袋などの異物でふさがっていませんか。	—	
		集合煙突に給排気筒を取付けた工事はされていませんか。	—	
	延長工事	床下・天井裏へ給排気してありませんか。	—	
		壁埋込みの配管工事はしてありませんか。	—	
		排気筒の長さは給気ホースに比べ極端に長くなっていませんか。	—	
		給気ホース・排気筒の長さは3m以内で曲がり数3箇所以内ですか。	—	
		排気筒の途中に水がたまるようなへこみ部はありませんか。	—	
		排気筒のドレン戻り寸法は1.8m以下になっていますか。	—	
		古い排気筒を使用していませんか。	—	
電気配線		電源プラグはコンセントに確実に差し込まれていますか。	5	
		電源コードは高温部に触れていませんか。	—	
		電源コンセントは電源プラグの抜き差しが容易な位置にありますか。	—	
		ノイズの影響を受けやすいテレビやステレオなどと同じコンセントで使用していませんか。	10	
排気筒はずれ検知リード		排気筒はずれ検知リードは、給排気筒トップに接続されていますか。	—	
		排気筒はずれ検知リードは、給気ホースにそって固定されていますか。	—	

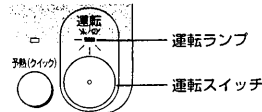
上記が守られていないと火災・不完全燃焼などをおこすおそれがありますので、販売店・工事店に正しい処置をご依頼ください。

試運転

試運転は、販売店・工事店と立合いで行ってください。
運転手順、異常時の処置方法について販売店・工事店より説明を受けてください。

■運転準備

1. タンクドアーを開け給油したカートリッジタンクをセットする。
2. 置台などに油漏れ、油のにじみがないか確認する。
3. 電源プラグをコンセント(100V)に確実に差し込む。

■運転開始と停止の手順

1. **運転スイッチを押して「入」にする。**
運転ランプが点灯し、5～6分後に燃焼を開始し、温風がでます。その状態で約15分間運転して異常表示が出ないか確認してください。

2. **再度運転スイッチを押して「切」にする。**
運転ランプが消灯し、燃焼を停止します。しばらくして本体が冷えると対流用送風機が止まり、運転が停止します。

お知らせ

●室内温度が30℃以上ある場合に試運転するときには温度/タイマー設定ボタン▲を5秒以上押し続けて「H」を表示させると最大燃焼量で連続運転を行います。
●連続運転は自動的に約10分間で解除されますが、▼ボタンか運転スイッチを「切」にしても解除できます。

■初期運転時の現象
●初期運転時や燃料切れの際、ボッボッと音をたてて燃焼することがありますが、故障ではありません。
●温風吹出口から煙やにおいが出ることがありますが、パッキンから初期的に発生する臭いや燃焼器に付着した油やほこりが焼けるためで異常ではありません。
●試運転は部屋の換気をしながら行ってください。

■正常運転の目安
●正常運転の目安として、19～21ページのような現象がないことを確認ください。

保証とアフターサービス

修理・取扱い・お手入れなどのご相談は
まず、お買上げの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は右一覧表で
●修理のお問合わせは　「修理窓口」へ
●その他のお問合わせは　「ご相談窓口」へ

保証書(別添付)について

■保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。
■内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間…お買上げ日から1年間。
（ただし、燃焼器部分については3年間です。）

補修用性能部品の保有期間は

■当社は、この三菱クリーンヒーターの補修用性能部品を製造打切り後10年保有しています。
■補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

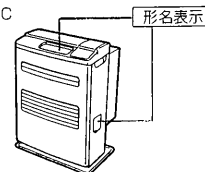
修理を依頼されるときは

「故障かな?」と思ったら(19～21ページ)にしたがってお調べください。なお、不具合があるときは、運転スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は
修理に際しては、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

■保証期間がすぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
修理料金は、技術料+部品代(出張料)などで構成されています。

■ご連絡いただきたい内容

1. 品名　三菱クリーンヒーター
2. 形名　VKT-402RC, 302RC
3. お買上げ年・月・日
4. 故障状況と故障表示（できるだけ具体的に）
5. ご住所（付近の目印なども）
6. お名前・電話番号

三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内（家電品）

修理・取扱いのご相談は
まずお買上げの販売店へ

転居や贈答品などでお買上げの販売店へご依頼できない場合は

修理窓口へ　　ご相談窓口へ

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的並びに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合及び下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示する事はありません。
①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
②法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

K06B

修理窓口　電話受付：365日24時間

北海道・東北地区

北海道全域・宮城県
東日本フロントセンター
東京都世田谷区池尻 3-10-3
フリーダイヤル 0120-56-8634
通常電話番号（携帯電話対応） (03) 3424-1111
ファックス (03) 3424-1115
インターネット www.melsc.co.jp

青　森 (017) 773-8381 青森市大字野木字野尻 37-184	山　形 (023) 624-0018 山形市大野目 2-1-21
八　戸 (0178) 28-8544 八戸市大字長苗代字下亀子谷地 6-8	鶴　岡 (0235) 24-6161 鶴岡市上畑町 5-4
盛　岡 (019) 637-7454 盛岡市羽場13地割 30-11	郡　山 (024) 959-6543 郡山市喜久田町卸 1-76-1
水　沢 (0197) 25-4511 奥州市水沢区卸町 2-3	会　津 (0242) 27-4426 会津若松市天神町 25-39
秋　田 (018) 865-4471 秋田市八橋三和町 19-36	原　町 (0244) 24-2842 南相馬市原町区桜井町 1-173
横　手 (0182) 32-1785 横手市卸町 3-2	いわき (0246) 26-1822 いわき市小島町 1-2-2
大　館 (0186) 42-2781 大館市餅田 2-5-44	

関東・甲信越地区

東京都・神奈川県・千葉県
茨城県・埼玉県・栃木県・群馬県・山梨県
長野県（飯田地区除く）・新潟県・静岡県
東日本フロントセンター
東京都世田谷区池尻 3-10-3
フリーダイヤル 0120-56-8634
通常電話番号（携帯電話対応） (03) 3424-1111
ファックス (03) 3424-1115
インターネット www.melsc.co.jp

関西・東海・北陸・中国・四国地区

大阪府・奈良県・和歌山県・兵庫県
京都府・滋賀県・愛知県・三重県・岐阜県
長野県（飯田地区）・石川県・富山県
福井県・広島県・山口県・島根県・鳥取県
岡山県・香川県・徳島県・高知県・愛媛県
西日本フロントセンター
大阪市北区大淀中 1-4-13
フリーダイヤル 0120-56-8634
通常電話番号（携帯電話対応） (06) 6454-3901
ファックス (06) 6454-3900
インターネット www.melsc.co.jp

九州地区

福岡県・佐賀県
西日本フロントセンター
大阪市北区大淀中 1-4-13
フリーダイヤル 0120-56-8634
通常電話番号（携帯電話対応） (06) 6454-3901
ファックス (06) 6454-3900
インターネット www.melsc.co.jp

長　崎 (095) 834-1116 長崎市丸尾町 4-4	宮　崎 (0985) 56-4900 宮崎市大字赤江字飛江田150-1
佐世保 (0956) 30-7740 佐世保市木原町 155-1	延　岡 (0982) 21-3540 延岡市惣領町 25-5
熊　本 (096) 380-0211 熊本市石原 1-10-35	鹿児島 (099) 260-2421 鹿児島市卸本町 7-17
八　代 (0965) 33-5173 八代市緑町 13-1	沖　縄 (098) 898-3333 宜野湾市大山 7-12-1
大　分 (097) 558-8803 大分市向原西 1-8-1	

ご相談窓口

当社家電品の購入・取扱い方法・その他ご不明な点は

三菱電機お客さま相談センター
〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3
受付時間 365日 24時間

全国どこからでも おかけいただけるフリーコール
0120-139-365（無料）
いつも サンキュー 365日
通常電話番号（携帯電話対応） 03-3414-9655
ファックス 03-3413-4049

ご相談対応　平　日　9：00～19：00
　　　　　　土・日・祝　9：00～17：00
上記以外の時間は受付のみ可能です。

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

K06B

仕様

型式の呼び		VKT-402RC		VKT-302RC	
種類		気化式・屋内用密閉式強制給排気形・強制対流形			
点火方式		高圧放電点火・自動点火			
使用燃料		灯油（JIS 1号灯油）			
暖房出力	最大	3.86kW		3.01kW	
	最小	2.58kW		2.58kW	
発熱量	最大	16150kJ／h		12590kJ／h	
	最小	10740kJ／h		10740kJ／h	
熱効率	最大	86.0%		86.0%	
	最小	86.6%		86.6%	
油タンク容量		6.3L（カートリッジタンク）			
燃料消費量	最大／最小	0.436／0.290L／h		0.340／0.290L／h	
暖房のめやす	温暖地	木造10畳（16.5m^2）まで	コンクリート14畳（23.0m^2）まで	木造8畳（13.0m^2）まで	コンクリート11畳（18.0m^2）まで
	寒冷地	木造10畳（16.5m^2）まで	コンクリート16畳（26.5m^2）まで	木造8畳（13.0m^2）まで	コンクリート13畳（21.5m^2）まで
外形寸法（置台を含む）		高さ575㎜、幅490㎜、奥行350㎜			
質量		23kg			
電源電圧および周波数		100V 50／60Hz			
定格消費電力	最大消費電力	（点火時）380／380W			
	燃焼時消費電力	33／35W		28／31W	
	待機時消費電力	2.0／2.0W			
給排気筒の型式の呼び		VGZ-22UGT$_2$-N			
給排気筒呼び径		D34（使用Oリング：呼び P34 JIS B2401 4種D）			
給排気筒壁貫通部孔径		65㎜			
排気温度		260℃以下			
電流ヒューズ		8A・5A			
温度ヒューズ		172℃・227℃			
安全装置		対震自動消火装置・過熱防止装置・点火安全装置・燃焼制御装置・停電安全装置			
その他の装置		異常過熱防止装置・異常着火検知装置・排気筒はずれ検知装置・異常燃焼検知装置			
付属品		●給排気筒トップ取付ネジ　皿ネジ3本 ●室内傾斜フランジ　1個 ●絶縁パイプ　1個 ●室外傾斜フランジ　1個	●室内傾斜フランジ取付ネジ　木ネジ3本 ●壁固定部品取付ネジ　2本 ●給気ホースバンド　1個 ●コードバンド　2本	●壁固定部品　2個 ●トップフード　1個 ●床固定取付ネジ　2本 ●C形ストッパー　2個	●リードクリップ　2個 ●スポイト　1個 ●壁厚対応スペーサー　3個 ●伸縮管　1本

※暖房のめやすは（社）日本ガス石油機器工業会の基準によります。
※寒冷地の住宅は二重窓、断熱材施工の条件などが異なるため温暖地より広い部屋に対応できることになります。

愛情点検

★長年ご使用のクリーンヒーターの点検を！

ご使用の際このような症状はありませんか。
●排気パイプがはずれている。
●臭いがしたり、目がチカチカする。
●本体後部の壁がススで汚れている。
●燃焼確認窓がススで汚れて炎が見えない。
●点火しない。使用中炎がたびたび消える。
●運転中に「ボーン」という大きな音がする。
●その他の異常・故障がある。

▶ 使用中止　故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグを抜いてから必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

三菱クリーンヒーターを廃棄処分される場合は、本体内の灯油を抜きとってから行ってください。

形名	
お買上げ年月日	
お買上げ店名 （住所） （電話番号）	

三菱電機株式会社
中津川製作所　〒508-8666　岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。